

第2章 単元計画の作成に当たって

単元とは、各教科等において、一定の目標や主題を中心として組織された学習内容の有機的なまとまりのことであり、単元の構成は、教育課程編成の一環として行われる。教科書を含む教材の章立て等も、こうした単元の構成をイメージしながら構成されている。また、単元ではなく題材といった呼び方をする場合や、単元の内容のまとまりの大きさに応じて、大単元、小単元といった呼び方を用いる場合等もある。従来、単元については、実生活に起こる問題を解決する経験のまとまりを内容とする経験単元と、科学・学問の基礎を子供の発達過程に即して体系的に教えようとする教材単元という二つの考え方が提起されてきた。現在、各学校において実施されている単元については、各教科等の系統的な内容を扱いつつ、その中での学習のまとまりを子供にとって意味ある学びにしようとする様々な工夫が展開されている（中教審答申「次期学習指導要領に向けたこれまでの審議のまとめについて（報告）」P.26 注釈より）。

各教科等を合わせた指導である生活単元学習における単元については、通常の教育における単元を踏まえたうえで、知的障害を併せ有する児童生徒の学習をより効果的にするために発展してきた歴史的な経過がある。生活単元学習における単元とは、「計画・準備・実施・反省・再計画」の一連の活動のまとまりのことであり、知的障害を併せ有する児童生徒の学習の特性を踏まえたうえで生活に根差した題材を用いて構成される。生活単元学習における単元についての詳細は、第1巻Ⅲ 障害種別における教育課程の編成 第5章「知的障害」 第2節（3）のウ 各教科等を合わせた指導【生活単元学習】（イ）「指導計画作成上の留意点」を参照のこと。

題材とは、教科における系統性を背景にもった学習活動の材料であり、単元を構成する一つの要素をさす。ただし、題材は単元の一要素ではあるが、題材学習は単元化された学び（単元学習）の一部ではなく、一つ一つの学びの材料を取り上げ、その材料との関わりを通して知識及び技能等の資質・能力の育成を目指す学びの目標及び内容等を計画するものである。

単元計画等は、年間指導計画を踏まえ、単元や題材等の内容や時間のまとまりごとに作成される計画である。一つの単元や題材を通して、何を何時間で、どのような段階を経て学ぶのか、児童生徒一人一人にどのように支援するのか、一連の学習を通して何ができるようになるのか等、について具体的に示したものである。「主体的・対話的で深い学び」の実現は、一単位の授業で評価できるものではないため、単元計画等において授業改善が図られるよう計画及び評価されることが望ましい。

単元計画等には様々な様式があるが、そこに含まれる基本的な構成要素は、単元名又は題材名、単元設定の理由又は題材設定の理由、単元目標又は題材目標、児童生徒の実態、指導計画などがある。

単元計画

単元（題材・主題）名			
各教科等名			
学習グループ	○学部○年 □□学級 △△グループ		
単元目標 （題材・主題目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・ (知識及び技能) ・ (思考力、判断力、表現力等) ・ (学びに向かう力、人間性等) 		
本単元に関連する学習指導要領の内容・段階	国語：小学部 2 段階 A 算数：小学部 1～2 段階 D	各教科等を合わせた指導の場合は、関連する教科等が分かるようにする。教科別の指導であっても他の関連する教科があれば記入する。学習指導要領の項目記号で内容も記す。	

日時	学習内容（主となる活動のみ記載）	時数	知	思	学
		1	○		○
	毎時取り組んでいる活動などは触れない。当該単元・題材の内容のみ記入する。「導入、展開、まとめ」「計画、準備、実施、反省、再計画」など一連の活動のまとまりが示されるとよい。	3	○	○	
		2		○	○
	育成を目指す資質・能力の 3 つの柱に基づいた単元目標のうち、その授業で重点的に取り扱われる項目に○をつける。				
総時数：					時間

目標達成のための指導・支援の手立て （主体的な学び、対話的な学び、深い学びをどのように設定しているか）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	(主) (対) (深)
--	---	-------------------

* 主体的・対話的で深い学びの視点で授業改善を図る。

	学習内容・目標設定	指導・支援の手立て	時数、授業形態等
課題・改善策	授業改善のための単元の PDCA サイクルという視点。		

図：単元計画 様式例